常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
営業部専用 1、210
編集部 1、269

満腹の一〇〇円
ホップのきいた生ビール

終戦記念日を迎えて

あの日の誓い新たに

友愛に満ちた社会を築こう

鈴木光四郎

思い出多い八月十五日、終戦記念日も十二回目を迎えた。あのころ生れた子供さんは、もう十二才、小学校の上級生に成長している。月日の経つのは速いことが、身をもつて体験されるのである。

あのころ、私は磐城女子高校に勤めていた。学徒動員などで職員も生徒も、ペンを捨て、工場や事業場で働いていた。残された下級生は、学校に留まつて勤労奉仕に精を出していた。ただ勝つために努力を重ねていた。昭和二十年八月十五日の正午近く職員も生徒も全員講堂に集められた。涙のうちに敗戦の御言葉を聴いたのである。教師も生徒も組み合つて無言、ただ涙のみであつた一生のうちで、これほど国を想う涙に包まれた日はないことであろう。空には星のマークの小型戦闘機が縦横に飛び廻つていた。

そのとき、多くの日本人が心に誓つたことは、何であつたろうか、それは苦しみに耐えて新日本の再建に努力しよう、連合国の人々を見返すことの出来る国に作り直そう、戦争のない社会に生きとし生けるものが、幸福に暮すことの出来る世の中にしようなどと、誓つたものである。あれから十二年、この誓、この悲願が達成されたであろうか、文化的にも経済的にも戦前の水準に達し或は、それを超えている。然しそれにふさわしい生活態度や精神的な在り方が向上しつゝあろうか私は然りと答える自信をもたないものである。

最近になつて、道徳教育が必要であるとか、原水爆禁止の世界運動を起こそう、などという言葉が使われているが、根本的な問題としては、忍耐、寛容や友愛の心を見失つているものゝようである。今後の日本の発展のためにも世界の人々の幸福を希うためにも、おたがいが今より物事に耐えて、ゆたかな心持と友愛の精神の満ちた世の中にしたいものである。

敗戦の憂いを復興の喜びに

諸橋久太郎

終戦後、はやくも満十二年の歳月がながれた。この十余年間は、わが国と国民の全部にとつて、文字通り苦難の道程であつた。建国以来、名目的にも、実際的にも、敗戦という経験がなかつただけにこの間の経験は、異常のものであつた。しかし、今や日本復興のきざしはあらゆる方面にあらわれており、終戦後十年と劃して、ようやく一つの峠に達したという感が深い。

日本は、敗戦から六年間、連合国というより、アメリカ軍の占領下におかれ、政治、経済、社会、文化等すべての政策は、ほとんど全部その指示のままに施行された。アメリカは民主々義と自由の精神で日本を教育したといつているが、静かに考えて見ると多分に自分よがりがあつたではないか。このようなアメリカの領導によつて、日本は、自由国家の一員として国際社会の仲間入りのできたことは喜びとしなければならない。

顧つて、わが市勢を顧みるに、惨惨たる戦災の焦土にたつたわれわれ市民は、幸にも、復興の気魄を失わなかつた。即ち衣食住の窮乏に堪え、経済の疲はいを忍び、奮然たつて、市区の復興整備に、生産の開発増強に、教育文化の伸展に、縦横力闘、以つて今日戦前に勝る壮観を呈するにいたつたのである。禍を転じて福とした市民各位の意気に対し唯々感涙あるのみである。

今この記念すべき日を迎え、更に思を新にして、国家の隆昌と市勢の伸ちょうとを祈誓してやまない次第である。

原爆の悲劇二度と繰返すな

溝井義男

有史以来未曽有の危機に直面し、再生日本の民主々義という史上最大の変革をもたらし、終生忘れることの出来ない終戦十二年目を迎え、ここに往時を回顧して所懐の一端を述べることは私の尽きない想い出である。終戦を契機とし、あの「きよ脱」状態と限りない悲哀し累積の前途「暗たん」たる中に帰結するところ民族的団結と再生復興への燃ゆるが如き情熱とにより、占領下極めて困難なる条件の下において新生日本の初歩が踏み出されたが果して今日の姿を誰れが予期したであろうか。

惟うに昭和二十年八月十五日、ポツダム宣言による無条件降伏に続き独立主権は停止され限られた領土において民主々義に基く平和国家が再建された。更に年を追うにつれ政治、経済、文化等各般に亘る施策も逐次落付きを見、所謂、物心両面における国民生活の安定をも確保する社会保険が確立されて高い理念に基く福祉国家実現も見ることは蓋し戦前に比し隔世の感あると共に経済、文化両面において国内資源の開発或は海外貿易の発展と併せ内外文化の向上等著しい進展を見ることは再建日本のため洵に喜びに堪えない。然し乍ら新しい時代の現在直面している最大の課題は内外世論の等しく関心を抱く原水爆の問題であり世界の将来の発展と人間生活上かつてなき幸福も約束される原子力時代がその道を誤り人類破めつの武器に利用されることは終戦十二年前のかつての「惨たん」たる当時を回顧して原水爆の禁止を強く叫ばざるを得ない。それが又めぐり来る終戦の周年に際し与えられた責任の理因でもあることを痛感させられたことは「あながち」私一人ではあるまい。

炭礦側引湯停止を通告

湯本温泉　20日までに解決なければ

常磐市議会温泉対策委員、同市湯本財産区議会で結成している市区連合温泉対策協議会と常磐炭砿との引湯契約更新については両者の意見がもつれ分裂しているが、常磐炭砿側では企業合理化計画にもとづいて去る十三日磯野常磐市長に対して「二十日までに解決せぬ場合は引湯を停止する」という最終通遷書を提出した。このため財産区では早急に協議会を開いて対策を協議することになつているが、もし湯本温泉の引湯が停止されれば市や業者の死活問題となるので、その解決点と両者の出方が注目されている。

空中仕掛花火も

きよう流燈花火大会

平夏祭りの終尾を飾る豪華けんらんの「流燈花火大会」は今夜七時から夏井川畔で華々しく開かれる。同日は午后七時十分から単発打揚を始め、鎌田橋下で市内僧侶による施が飢供養が行われ、約八百の流灯が放流され、夕闇の夏井川を彩どる。今年の花火は遠くから見ることができる空中仕掛花火スターマインのほか打揚も連続的に行われることになつているので、盛会が予想される。主な花火と打揚時刻は次の通り。

◇七時三十分＝早打「柳に光月」平金融団◇七時四十五分＝早打「涼風晴夜の競艶」三丁目商店会◇八時＝早打「昇銀龍変化菊」平酒販◇八時五分＝早打「柳に雷間月時雨」二丁目商店会◇八時十五分＝早打「雷雨の残事咲分舞」大黒屋◇八時三十分＝仕掛「常磐炭砿」◇八時四十五分＝スターマイン「夏井川花雪吹」平市議会◇九時＝仕掛「常磐交通」◇九時十五分＝早打「岡田牛乳」仕掛「平競輪」

長男室原朗儀去る七月二十一日死去致しました
茲に生前の御厚誼を深く謝し謹んで御知らせ申上げます
追つて告別式は来る八月十七日午後二時より三時迄自宅に於て相営みます
昭和三十二年八月十五日
平市仲町七六
父　室原重幸

今日は黄色で参りましょう
お米や麦や、お芋にお砂糖　うどん粉製品おつかいなさい油は力をマスく出させ、百人力になりますぞ。
○そうめん　一パ　二一円
○木村屋食パン　一斤　三五円
○白砂糖　百匁　五六円
○森永バター半ポンド　一二〇円
○金曜特売　くらげ粕漬五五円
藤越　小名浜　平市

助手従業員募集（三名）
▽通勤可能の者
遠藤砂利店
平市大町電一一〇五

☆ナイトショウ☆16日―18日
鬼畜！此の残ぎやく！一本の張金にしばり上げたまゝ殺したのだ！
侵略の記録
「かん國軍國防部政訓局」
世界館　上映10時30分　入場料 ¥40

栄養の補給に！
マルサの精肉とお惣菜
伊勢松坂牛　百匁　二六〇円より
牛並肉　〃　二二〇円
牛上肉　〃　一八〇円
豚小間切　〃　一四〇円
〃上肉　〃　一九〇円
◎其の他コロッケ・トンカツ
ご贈答に伊勢松坂牛をご利用下さい
マルサ　平市銀座通り　電二七一

愈々明日から……
平市内各商店が夏の蔵ばらい！
メチャメチャの大安売
平名物でこ市
◎とき　八月十六日から三日間
◎ところ　三十米大通り（朝から晩まで）
主催　平市商栄会
後援　平市商工会議所・平市商店会連合会

倉払　16日 17日 18日（3日間）限り
高級ビニールパンプス
布靴　定價の半額
平3 大 横山商店タイヤー部に於て

お家族連れで………

松月の喫茶
SHOGETU
TEA ROOM
RESTAURANT
TEL 1188

平など四市指定

青少年対策モデル地区

青少年を悪から守ろうと先に青少年保護育成条例を起案、また愛の鐘運動を行うことになつた県厚生部ではさらに平をはじめ福島、郡山、会津若松の四市を青少年対策モデル市に指定、積極的に青少年の保護育成事業を推進することになつた。

四市ではこの事業を効果的に推進するために、すでに設けられた各種青少年関係団体を活用する方針でまずBBS、児童指導班補導会などの青少年指導組織などの母類組織、さらにこども会、青少年赤十字、4HC、青年団などの青少年組織にテコ入れして総合的に子供を守る機運を盛り上げることになつている。またこれと並んで青少年のための厚生施設、例えば児童遊園地、児童公園、広場、運動場などの屋外施設や児童館、児童図書館などの屋内施設を整備、これらの厚生施設を生かして善導することになつている。また常磐市などで行われている愛の鐘運動も採用、青少年保護育成の思想を周知することになつている。

職安八月の統計

平職安は七月分求人、求職者及び失業保険金支払額集計をこのほどまとめ次の通り発表した。それによると保険金は四百七十四万九千円で受給者は七百四十九人、六月に比較すると受給者が少い割に金額が多いのは高額の受給者が多かつたものと見られる。求人者は七百五十八人に求職者千百七十一人、就職者七百四十七人、これはいずれも先月より上回つているが学生の夏休みでアルバイトを求める人が三百名近く入つていると見られる。

赤間氏優勝

平の将棋大会

平将棋碁楽会の優勝盤争奪将棋の成績は次の通り。

◆優勝赤間和作◆A組＝①永井喜一②伊藤定治③南善夫④白土京一◆B組＝①赤間和作②佐々木武男③鈴木茂④矢吹幸次

今晩のラジオ

◆NHK（第一）

六、〇〇	子供ニュース
六、三〇	一丁目一番地
六、四五	川柳コント
七、一五	録音ニュース
七、三〇	浪花演芸会
九、一五	浪曲
九、三〇	話の泉
一〇、一五	ミンドロ島の十二年の記録

◆ラジオ福島

六、〇五	トニーの童話
六、一五	赤胴鈴之助
六、三五	ガイドタイム
六、四〇	人気歌手ヒットパレード
六、五〇	音楽の小箱
七、一〇	録音ニュース
七、一五	歌うダイハツ三輪車
七、三〇	歌のトランプ
八、〇〇	めぐり逢うとき
八、三〇	安川お好み演芸会
九、〇〇	平凡アワー
九、三〇	甚兵衛アワー
一〇、〇五	名作アルバム
一〇、三五	今日のスポーツから
一一、〇五	時事解説

今晩の映画

▼平文化ニュース　二十一日迄
ニュース　マンガ大会
死の灰　釣日記

▼世界館　二十日迄　電六六
七、一五　くちづけ
八、三〇　万五郎天ぐ

▼東映劇場　二十日迄　電六五
七、〇五　夕やけ鴉
八、二六　鳴門の海賊

▼民劇　二十日迄　電一三三
六、三〇　裸の町
八、三五　危険な英雄

▼ひかり座　十九日迄　電一三六
七、一五　東京上空三十秒
八、三〇　早射ち二連銃

▼聚楽館　十九日迄　電四四〇
六、三〇　上流社会
八、三〇　追想

▼平館　二十日迄　電四六六
六、三〇　悪魔の顔
八、三五　殺したのは誰だ

ナイトショウ

▼東映劇場　十七日マデ
一〇、一〇　どくろ銭

▼世界館　十五日まで
一〇、三〇　遥かなる戦線

▼ひかり座　十五日マデ
一〇、一五　戦艦大和

▼聚楽館　十七日まで
一〇、三〇　わが心に歌えば

1957年 上げます 申し上げます 見舞申し上げます 中暑 夏盛

昭和工業株式会社
社長 小湊恒太郎
福島県四倉町 電四四・三五四

木村守江
福島県四倉町 電三五

土木建築設計請負
江口工業合資会社
代表者 江口勇
福島県四倉町 電一五二

七十七銀行四倉支店 平信用金庫四倉支店
支店長 高橋清　支店長 平井鉄三郎

四倉町金融団
大東相互銀行四倉出張所 福島相互銀行四倉出張所
所長 渡辺丈夫　所長 渡井勇司

土木建築請負・陸上運送業
鈴木組
代表者 鈴木吉之助
福島県四倉町 電一四三・二三九

四倉町内校長会
会員 一同

大浦農業協同組合
組会長理事 小林豊広
事務 古市幸三郎

ぞこ市
絶対見逃せぬ……
……絶好のチャンス
主催 平市商栄会
後援 平商工会議所 平商店連合会

でこ市参加
メチヤメチヤの大安売
絶対お見逃せぬ
袋屋本店
平市五丁目 電五一六

でこ市参加
毎度御引立有難度うご座います
でこ市の売出しは
ゼヒ仙台屋へどうぞ
仙台屋関商店
平市長橋町 電五四八

でこ市参加
貴重なお金で……
上手な買物……
お待兼ね
鈴藤の大蔵ばらい
此のチャンスを
衣料品のデパート
鈴藤
平3丁目 TEL1956・1654

でこ市参加
メチヤメチヤの大安売
高級履物草履在庫豊富
井上履物店
平市新川町

でこ市参加
ベラボーに安い
渡辺の蔵ばらい！
旧十銭屋
渡辺陶器店
平市一丁目 電八四三・二〇一五

でこ市参加
高級履物。草履。各種在庫豊富
驚くほどの大安売
松本履物店
平市七丁目

でこ市参加
夏物一掃
破格の安値
お見逃しなく此の機を！
用品とふくろもの
百合（ひやく ごう）
平市駅前大通り

でこ市参加
早い者勝ち！
見逃せぬチャンス
佐川呉服店
平市五丁目 電一四八六

でこ市参加
出た!!
さかいやの蔵ばらい
さかいや本店
平市六丁目 電四八五

でこ市参加
？何が出るでしょう
西武の品！
平駅前
西武ストアー
電話（平）656・1764

でこ市参加
高級履物の
大なげ売！
いすず履物店
平市六丁目二